

環境掲示板

社会教育会館のつどい 特別講演会

「クマたちが棲む、豊かな森を次世代へ」

主催 つどい実行委員会 社会教育会館

日時 12月5日(土) 14:30~16:30

場所 社会教育会館4階講堂

定員 100名(先着順) 無料

申込 直接会場へ

問合せ 社会教育会館 45-1151(内線 3351)

環境映画「WALL・E」上映会

主催 環境対策課

日時 12月6日(日) 開場 12:30

上映予定 13:00~15:00頃

場所 三鷹駅前コミセン地下1F 大会議室

定員 120名(先着順) 無料

整理券 正午より入場整理券を配布

問合せ 環境対策課(内線 2523)

植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 12月6日(日) 13:00~14:30

1月10日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

編集後記

羽沢小学校の4年生が、学習の一環として「野川をよくする活動」について取り組んでいる。「野川クリーンアップ会社」を作り、実行する計画を立て、野川の外来植物の除草、ゴミ拾い、湧き水の観察などを行った。環境についての理解が深まることを願っています。(安達)

問合せ 0422-31-9033

野鳥観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 12月12日(土) 9:00~12:00

1月16日(土) 9:00~12:00

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

クリスマスグッズ作り

主催 三鷹市ごみ対策課

日時 12月2日~19日の全開館日

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 特になし

定員 なし 無料

申込 直接会場へ

問合せ リサイクル市民工房 34-3196

第54回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ「冬の星」(仮テーマ)

日時 12月19日(土) 16:30~18:30

事前に申込みが必要

参加費 300円

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

発行: みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先: 三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

みたか環境ひろば 第19号

2009年12月1日発行

花壇ボランティアが活躍

~園芸家・八原ダリさんに聞く~

花と緑のまちを目指す三鷹市では、昨年からは花壇ボランティア講座が始まった。「花と緑のまち三鷹創造協会」が設立された今年4月からは、花壇ボランティア講座は、同協会に引き継がれ、2年目の講座が今年4月から始まっている。月1回ほどの頻度で、座学と実習がある。昨年は、市の図書館前の花壇が実習場所となっていた。受講生の大部分は、講座終了後も、ボランティアとして、実習した図書館前の花壇の手入れを続けている。今年も花と緑のまち三鷹創造協会前の花壇で実習が行われている。

3年ほど前から、上連雀新道北児童遊園、牟礼コミセン、連雀コミセン、井の頭コミセン、井口コミセンなどでも、花壇の手入れに力がいれられ、いつも色とりどりの花で一杯である。

熱心にこれらの花壇ボランティアの指導をされているのは園芸家・八原ダリさんです。10月29日、「花と緑の広場」での活動後の時間をいただいております。

いつも留意していることは、「皆さんがボランティア活動をすることによって、ワクワクする生き甲斐につながり、また、



花と緑の広場の花壇を創るボランティア達、八原ダリさんは前列右から2人目です。

笑顔が生まれる信頼関係のもとに、地域がよりよい形で発展していくことです。」

花壇ボランティア講座では、「私は、恵泉女学園大学で生き物と共に生きる素晴らしさを学びました。皆さんが植物を通して喜びを見いだせるようにと思い、自分が知っていることを伝えていきます。」

今後の抱負としては、「三鷹の中が花一杯になって、みんなの心のなかにも植物に対する思いが根付くように願っています。物言わない植物に目を向けるように、困っていることに手をさしのべる人々が増え、子供達にも伝承していくことがのぞまれます。」(安達)

野川の外来植物

～ 夏には、アレチウリやオオブタクサが繁茂～

7月ともなると、野川にはオオブタクサが目立つようになる。8月にはいるとアレチウリで一杯だ。これでは、子供達が野川の中に入り、水生生物を追いかけることも容易じゃない。これらは、いずれも北米原産の一年生植物で、元々は野川になかった外来植物である。

野川では、外来生物法で特定外来生物に指定されている植物12種のうち、4種が確認できる。それは、アレチウリ、オオブサモ、オオカワヂシャ、オオキンケイギクである。これらが繁茂すればするほど、在来植物が育たなくなる。生物の多様性の上から好ましいことではない。

一昨年、一人で野川のアレチウリとオオブタクサの除草を初め、昨年から仲間が増え、「みたか野川の会」(電話 0422-34-1165)を作り、野川の富士見大橋から、下流の大沢橋までの区間の除草をおこなっている。完全な駆除は難しいが、3年間の活動を終え、以前よりは、これらの外来植物の芽生えの密度は減少していると感じている。

今年は、7月から10月まで、ほ



野川の川辺に繁茂するアレチウリ



外来植物除草に励む「みたか野川の会」の人々

ぼ毎水曜日の朝7時から1時間半、除草活動を行ってきた。豊かな野川を守り、生き物の住みやすい環境を保全し、うつくしい川辺の風景を失わないでほしいと思って除草活動を続けている。来年は、もっと仲間がふえることを願っています。

(安達)

冬の窓・・・カーテンの工夫

ガラスの窓越しに部屋の中に射し込む冬の日光の温もりを感じる季節です。自然の温もりを貯えて、資源消費の暖房をできるだけ抑えたいものです。

最近、窓に吊すカーテンが、部屋の目隠し、遮光に加え、断熱・保温の面から注目されています。通常はガラス窓側の薄いレースカーテンと部屋側の厚いドレープカーテンの2枚を合わせて吊しますが、この薄い方のカーテンとして特殊加工によって断熱効果を持たせた「ミラーカーテン」が人気を呼んでいます。

ドレープカーテンがない場合でも、こ

の1枚である程度の断熱をもたせるといいます。さらに窓ガラスの内側の空気の対流を抑えてガラスを通す外の冷気を防ぐために、カーテンの吊し方を工夫する必要があります。

夏の冷房にも、もちろんこの断熱カーテンの効果がありますが、夏の熱気の遮断はガラスの外側で、例えばゴーヤ棚による日光の遮蔽などを併用するのが好ましいといえます。

窓のカーテンを工夫した暖冷房の省エネをすすめてみてはいかがでしょうか。

(山口)

三鷹のみち：中川遊歩道

東八道路を市役所から新宿方向に向かい、三鷹台団地南口という信号の右手に中川遊歩道の入り口があり、入口を表す標識が立っています。

この遊歩道は、以前は川だったところを、暗渠にしたために昭和57年に道路と認定されました。

道幅およそ1.5m位のところに両側には植え込みが有り、レンガ位の大きさのブロックが敷き詰められ、歩きやすくなっています。民家の裏側や畑の間に挟まれるように続き、静かに散歩できる遊歩道です。私が歩いた時も、丁度足に障がいのある老人が杖を付き、散歩をしているところに出会いました。毎日この道



中川遊歩道

を歩いているとのことでした。

東八道路から入り、中央自動車道に突き当たるまでが、三鷹市内の中川遊歩道です。それから先は、世田谷区に入っていきます。

(森)